

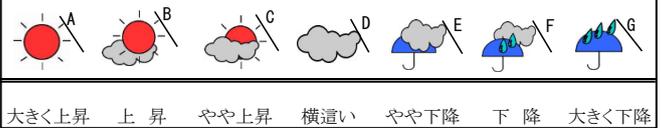
葛飾区の 景況

令和7年4～6月期

回答先 合計 864 社
 製造業 177 社 卸売業 107 社
 小売業 119 社 サービス業 168 社
 建設業 161 社 不動産業 132 社
 ※内訳：紙回答 495 件、WEB 回答 369 件

調査方法 郵送及びWEB アンケート調査
 調査機関 (株) 東京商工リサーチ

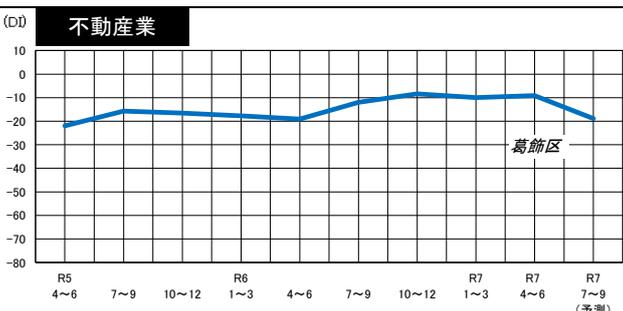
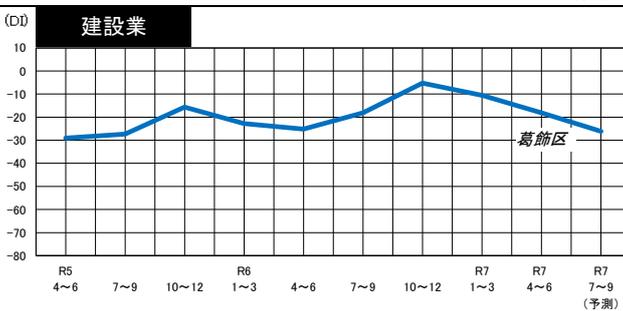
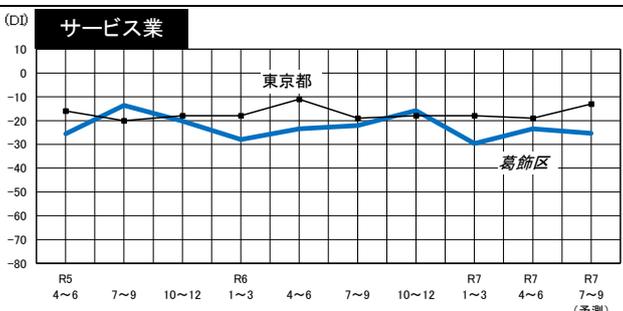
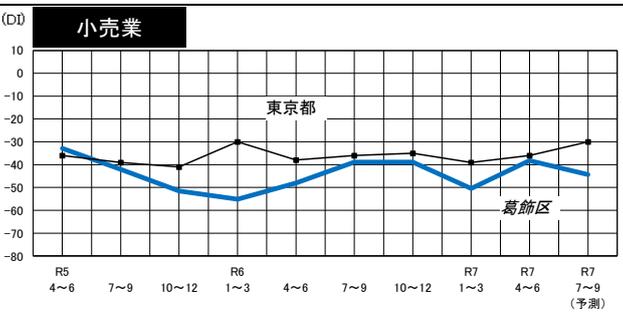
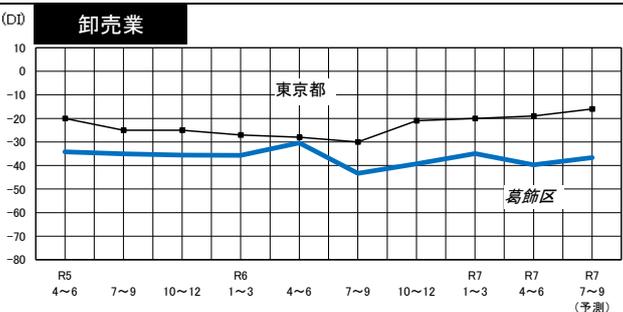
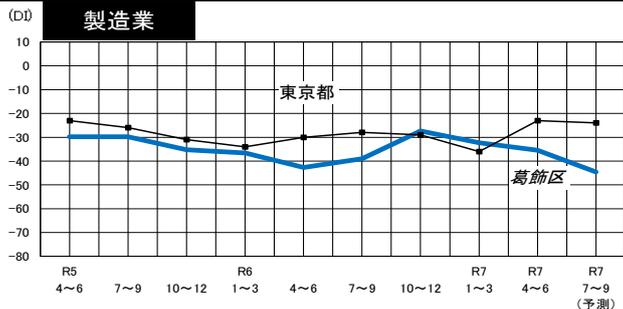
景気予報



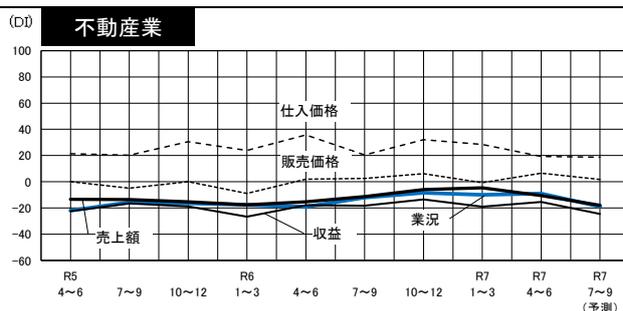
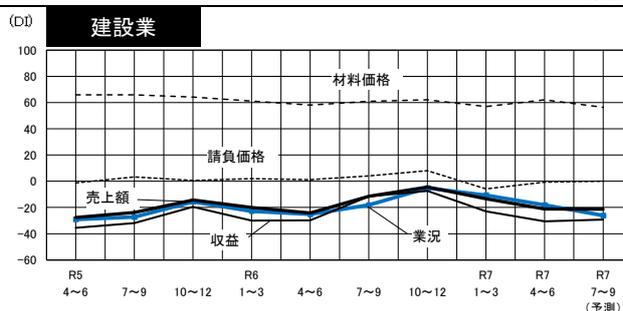
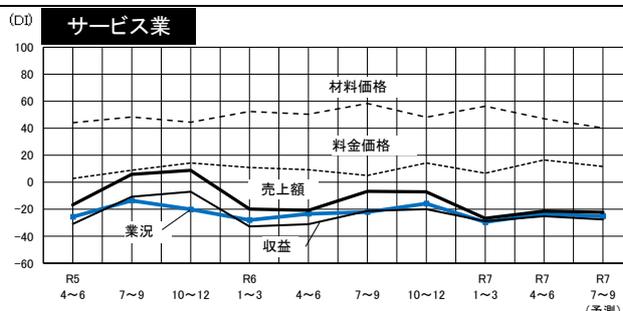
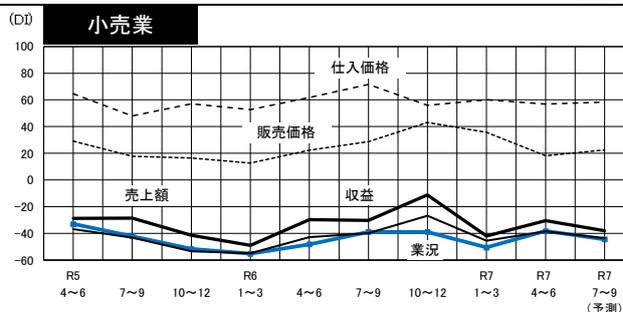
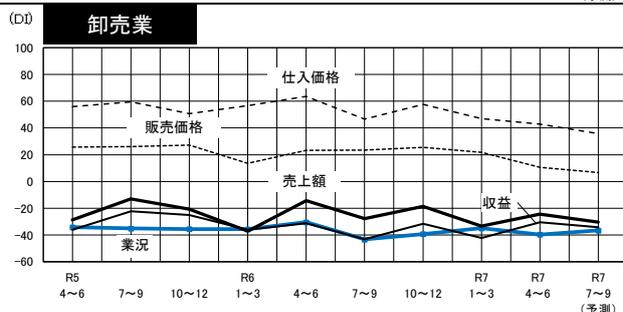
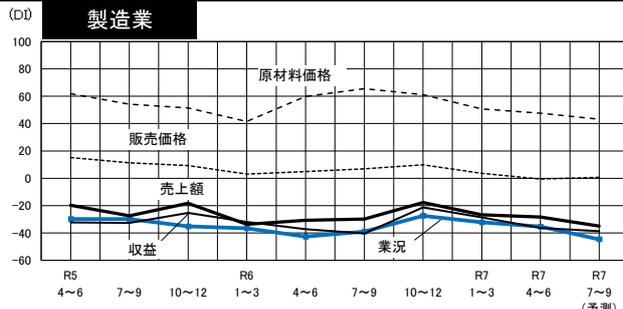
これは、令和7年6月下旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先3か月間（令和7年7月～9月期）の予想をまとめたものです。

全体	今期		業況、売上額、収益はいずれも前期並となった。販売価格は前期並となり、仕入価格はやや上昇傾向が弱まった。資金繰りはやや窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。売上額、収益はやや減少幅が拡大すると予想されている。
製造業	今期		業況はやや低調感が強まった。売上額は前期並となり、収益は大きく減少幅が拡大した。販売価格は上昇から下降に転じ、原材料価格はやや上昇傾向が弱まった。資金繰りはやや窮屈感が強まった。
	来期		来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。売上額は大きく減少幅が拡大し、収益はやや減少幅が拡大すると予想されている。
卸売業	今期		業況はやや低調感が強まった。売上額、収益はともに大きく減少幅が縮小した。販売価格は大きく上昇傾向が弱まり、仕入価格はやや上昇傾向が弱まった。資金繰りは大きく窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況はやや厳しさが和らぐ見込み。売上額、収益はともにやや減少幅が拡大すると予想されている。
小売業	今期		業況は大きく厳しさが和らいだ。売上額、収益はともに大きく減少幅が縮小した。販売価格は大きく上昇傾向が弱まり、仕入価格はやや上昇傾向が弱まった。資金繰りはやや窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。売上額、収益はともに大きく減少幅が拡大すると予想されている。
サービス業	今期		業況は大きく厳しさが和らいだ。売上額は大きく減少幅が縮小し、収益はやや減少幅が縮小した。料金価格は大きく上昇傾向が強まり、材料価格は大きく上昇傾向が弱まった。資金繰りは大きく窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況はやや低調感が強まる見込み。売上額は今期同様で推移し、収益はやや減少幅が拡大すると予想されている。
建設業	今期		業況は大きく低調感が強まった。売上額、施工高、収益はいずれも大きく減少幅が拡大した。請負価格はやや下降傾向が弱まり、材料価格はやや上昇傾向が強まった。資金繰りはやや窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。売上額は今期同様で推移し、収益はやや減少幅が縮小すると予想されている。
不動産業	今期		業況は前期並となった。売上額は大きく減少幅が拡大し、収益はやや減少幅が縮小した。販売価格は上昇に転じ、仕入価格は大きく上昇傾向が弱まった。資金繰りはやや窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。売上額、収益はともに大きく減少幅が拡大すると予想されている。

葛飾区と東京都の業況の動き（実績） と来期の予測



業況と売上額、収益等の動き（実績） と来期の予測



※東京都の景況調査におきましては建設業・不動産業の調査は実施されていないので、全都の建設業・不動産業の業況は表示していません。

葛飾区 業種別 経営上の問題点

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
第1位	売上の停滞・減少 48%	売上の停滞・減少 55%	売上の停滞・減少 53%	売上の停滞・減少 45%	人手不足 52%	売上の停滞・減少 28%
第2位	原材料価格・材料価格の上昇 44%	原材料価格・材料価格の上昇 28%	原材料価格・材料価格の上昇 29%	人手不足 37%	原材料価格・材料価格の上昇 44%	同業者間の競争の激化 利幅の縮小 人件費以外の経費増加 20%
第3位	人件費の増加 28%	取引先の減少 25%	仕入先からの値上げ要請 26%	人件費の増加 33%	売上の停滞・減少 32%	原材料価格・材料価格の上昇 18%
第4位	人手不足 22%	仕入先からの値上げ要請 21%	利幅の縮小 人件費の増加 24%	原材料価格・材料価格の上昇 27%	人件費の増加 28%	販売商品の不足 6%
第5位	利幅の縮小 19%	利幅の縮小 17%	人手不足 21%	利幅の縮小 23%	下請の確保難 16%	工場・店舗の狭小・老朽化 6%

葛飾区 業種別 重点経営施策

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
第1位	経費を節減する 37%	販路を広げる 52%	販路を広げる 33%	経費を節減する 42%	人材を確保する 57%	経費を節減する 38%
第2位	販路を広げる 31%	経費を節減する 41%	経費を節減する 32%	人材を確保する 33%	経費を節減する 43%	不動産の有効活用を図る 34%
第3位	人材を確保する 24%	仕入先・提携先を開拓・選別する 20%	品揃えを充実させる 22%	販路を広げる 30%	販路を広げる 26%	情報力、宣伝・広報を強化する 15%
第4位	新製品・技術を開発する 18%	品揃えを充実させる 14%	売れ筋商品を取扱う 人材を確保する 18%	新しい事業を始める 14%	技術力を強化する 24%	販路を広げる 店舗・設備を改装する 11%
第5位	技術力を強化する 15%	新しい事業を始める 12%	情報力、宣伝・広報を強化する 15%	情報力、宣伝・広報を強化する 13%	仕入先・提携先を開拓・選別する 12%	仕入先・提携先を開拓・選別する 9%

東京都・葛飾区の企業倒産動向

1. 「東京都」の企業倒産 倒産件数と負債総額

	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	
	2024年4～6月	2025年1～3月	2025年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	485	414	450	8.7%	-7.2%
負債額(単位:百万円)	77,767	58,682	49,106	-16.3%	-36.9%

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

2. 「葛飾区」の企業倒産 倒産件数と負債総額

	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	
	2024年4～6月	2025年1～3月	2025年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	11	11	5	-54.5%	-54.5%
負債額(単位:百万円)	808	1,270	105	-91.7%	-87.0%

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

東京都の景況

令和7年6月の都内中小企業の業況DI(業況が「良い」とした企業割合-「悪い」とした企業割合)は、前期から4ポイント増の▲24とやや改善した。今後3か月間の業況見通しDIでは、今期比3ポイント増の▲21とやや改善する見通しとなっている。

業種別の結果は次のとおり。

製造業 業況DI(▲23)は13ポイント増と大幅に改善した。販売価格DI(販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合)(1)は増減なく前期並となり、仕入価格DI(仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合)(19)は5ポイント減とやや下降した。今後3か月間の業況見通しDI(▲24)は1ポイント減と今期同様で推移すると見込まれている。

卸売業 業況DI(▲19)は1ポイント増と前期並となった。販売価格DI(8)は3ポイント減とやや下降し、仕入価格DI(15)は3ポイント減とやや下降した。今後3か月間の業況見通しDI(▲16)は3ポイント増とやや改善すると見込まれている。

小売業 業況DI(▲36)は3ポイント増とやや改善した。販売価格DI(9)は3ポイント減とやや下降し、仕入価格DI(15)は12ポイント減と大幅に下降した。今後3か月間の業況見通しDI(▲30)は6ポイント増と大幅に改善すると見込まれている。

サービス業 業況DI(▲19)は1ポイント減と前期並となった。販売価格DI(2)は3ポイント減とやや下降した。今後3か月間の業況見通しDI(▲13)は6ポイント増と大幅に改善すると見込まれている。

特別調査「SDGsに向けた取組等について」

問1. SDGsの認知状況についてお答えください (〇は1つのみ)

(単位: %)

	よく知っている	大体知っている	あまり知らない	ほとんど知らない	全く知らない	その他
全体 (843件)	10.3	46.4	25.9	9.5	7.6	0.4
製造業 (170件)	12.9	50.6	22.9	7.6	5.3	0.6
卸売業 (103件)	11.7	41.7	32.0	9.7	4.9	0.0
小売業 (116件)	7.8	42.2	25.9	9.5	14.7	0.0
サービス業 (166件)	12.0	53.0	22.3	6.6	5.4	0.6
建設業 (159件)	6.3	47.2	28.3	13.8	4.4	0.0
不動産業 (129件)	10.9	38.8	26.4	10.1	13.2	0.8

問2. SDGsの取組状況についてお答えください (〇は1つのみ)

(単位: %)

	目標値を定めて取り組んでいる	目標値は定めて取り組んでいる	まだ取り組んでいないが検討している	取り組む予定はない	その他
全体 (816件)	3.8	17.9	31.1	45.2	2.0
製造業 (169件)	4.1	18.3	27.8	48.5	1.2
卸売業 (100件)	5.0	17.0	33.0	42.0	3.0
小売業 (109件)	0.0	22.9	26.6	48.6	1.8
サービス業 (160件)	7.5	17.5	28.8	45.6	0.6
建設業 (154件)	3.9	16.9	42.2	33.8	3.2
不動産業 (124件)	0.8	15.3	27.4	54.0	2.4

問3-1. SDGsの17のゴールのどれに関する取組ですか (〇はいくつでも)

(単位: %)

	人間 (ゴール1~6: 貧困、飢餓、健康、教育、ジェンダー平等、水と衛生)	豊かさ (ゴール7~11: エネルギー、経済成長、産業、格差是正、まちづくり)	地球 (ゴール12~15: 持続可能な消費と生産、気候変動、海洋、陸地)	平和 (ゴール16: 平和)	パートナーシップ (ゴール17: パートナーシップ)
全体 (174件)	39.1	44.3	53.4	13.2	7.5
製造業 (38件)	47.4	42.1	63.2	13.2	7.9
卸売業 (21件)	23.8	52.4	38.1	14.3	14.3
小売業 (24件)	33.3	37.5	54.2	16.7	12.5
サービス業 (39件)	46.2	41.0	53.8	10.3	7.7
建設業 (32件)	34.4	53.1	56.3	3.1	0.0
不動産業 (20件)	40.0	40.0	45.0	30.0	5.0

問3-2. SDGsに向けた取組をする中でどのような効果を感じていますか (〇はいくつでも)

(単位: %)

	企業のイメージアップ	新市場の開拓や新規顧客の獲得	売上の増加、経営の効率化	従業員の意欲向上、人材採用面での好影響	行政からの支援を受けやすくなる	特に効果を感じていない	その他
全体 (170件)	30.6	6.5	15.9	20.6	9.4	47.6	4.7
製造業 (37件)	37.8	2.7	13.5	21.6	8.1	48.6	2.7
卸売業 (21件)	38.1	0.0	9.5	23.8	4.8	38.1	0.0
小売業 (24件)	25.0	4.2	12.5	16.7	12.5	58.3	8.3
サービス業 (38件)	34.2	15.8	21.1	18.4	10.5	39.5	10.5
建設業 (31件)	25.8	3.2	25.8	25.8	12.9	41.9	3.2
不動産業 (19件)	15.8	10.5	5.3	15.8	5.3	68.4	0.0

問4. SDGsに向けた取組をしない理由について (〇はいくつでも)

(単位: %)

	取り組むメリットが見つからない	取り組みたいが何をすればいいかわからない	新しいことに取り組む余裕がない	その他
全体 (577件)	23.2	30.8	49.6	5.2
製造業 (116件)	29.3	31.9	44.8	4.3
卸売業 (68件)	22.1	30.9	47.1	5.9
小売業 (75件)	20.0	37.3	53.3	4.0
サービス業 (112件)	25.0	25.9	53.6	4.5
建設業 (112件)	10.7	30.4	60.7	5.4
不動産業 (94件)	31.9	30.9	36.2	7.4

問5. 米国の関税政策について、どのような影響を感じていますか (〇はいくつでも)

(単位: %)

	原材料価格の上昇	取引の減少	在庫管理の困難化	わからない、特に影響は感じていない	その他
全体 (816件)	38.7	12.6	1.5	52.2	4.2
製造業 (167件)	43.1	29.3	2.4	39.5	4.8
卸売業 (100件)	36.0	16.0	2.0	49.0	4.0
小売業 (108件)	38.0	3.7	0.0	57.4	2.8
サービス業 (162件)	33.3	7.4	1.2	60.5	3.7
建設業 (157件)	51.0	7.6	1.9	44.6	4.5
不動産業 (122件)	27.0	8.2	0.8	66.4	4.9